

文字・活字文化推進機構会長

福原 義春
ふくはら よしはる



「本が売れなくなった」と云われるようになってから随分久しい。そのうちに雑誌も売れなくなったということが話題になった。新聞も軒並み頭打ちという。それにはまたいろいろな説明がなされている。曰く出版点数が多すぎる。曰く大型書店の売店によつて町の小書店が店じまいをするようになった。曰く古くからある名門雑誌が部数減となる一方で、ターゲットを絞った新しい雑誌が雨後の筍のように続々発刊されては廃刊されている。

「図書館への期待」

とは云つてもその背景には生活習慣が変わつてきたことがあることは否めない。夜更かしになったといわれる生活時間だが、際限なく増えることはない。その有様の時間の枠の中にパソコンが入り込み、ゲームが悪魔のように時間を盗み、ケータイのメールならまだしもケータイ小説まで出現する。こんな状況ではゆつくり落ちていく読書にける時間がなくなるわけだ。

その結果はどうなったか。若し世代の思考力、表現力、伝達力が何となく頼りないではないか。OEC Dによる子ども読解力の各国比較では日本はがくんと順位を落としてしまった。文字は先人の思想や歴史を伝達する唯一最高の道具だ。その文字はコンピュータでもケータイでも使っているわけだが、水準の高い文章から文脈を読むことは読書でなければできないことだ。生活時間の奪い合いに身を任すのではなく、少しでも読書の時間を確保することが大切だ。

その読書のきっかけを作り、読書環境を確保するために公共図書館の働きかけがこれまでと違った状況のもとで期待されるようになった。本の貯蔵庫でもなければ、貸本屋でもない、今の時代のための図書館が生まれるべきだと思う。



中学生の職場体験で子どもたちに本の読み聞かせ—中央図書館でも6月から区立中学校の生徒を受け入れます。「本のある風景」写真の投稿を募集します。詳細は中央図書館企画調整グループへご連絡ください。電話03-3983-7861

言論人の首相
海老澤了之介を紹介した先号で、その早稲田時代の学友として石橋湛山が出てきた。その石橋湛山は永く目白の奥の落合に住んでおられた。私は偶然なことから、石橋湛山が総理になられたとき、中央公論社長・嶋中鵬二氏のお供をして落合のお宅に伺い、一時間あまりのインタビューを側から拝聴していた(昭和32年3月号の『中央公論』に掲載されている)。中央公論の前社長・嶋中雄作氏は石橋湛山氏など二十七八という定例の会合をもつた仲間で、戦時中を通して在野の自由主義的立場を貫いた同志であった。その石橋さんが総理になった。言論界出身の首相とは日本の政治史の中でも珍しい。昔からの仲間『中央公論』としても奮起して応援する立場に立った、いささかう。



豊島区立中央図書館報

第6号/隔月刊

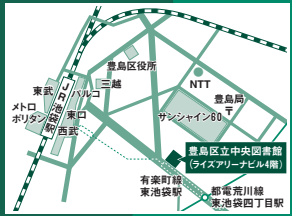
2008

と しょ かん づう しん 図書館通信

トピックス

- 巻頭言「図書館への期待」福原義春……………1ページ
- 生涯の冊「ワタカンカメン王のみみ」吉村作治……………2ページ
- レファレンスの事例・歳時記は楽し……………2ページ
- お店探訪・ゼミ受講感想・豊島区伝統工芸……………3ページ
- 6月21日特別講演会のお知らせ……………4ページ
- 地域研究ゼミナール第4弾……………4ページ

発行 豊島区立中央図書館
東京都豊島区東池袋四一五一一
ライズアリーナビル4階 〒170-8441
電話 03-3983-7861
FAX 03-3983-7904
ホームページ <http://www.library.toshima.tokyo.jp>
発行日 平成20年5月



新航路 [5]

前号で11月に開催する(仮称)図書館サミットについてお知らせしました。そこで今回は、開催に向けた準備の状況についてご報告します。

実施に向けた組織づくり

(仮称)図書館サミットは、豊島区が発起し、趣旨に賛同する全国の団体と実行委員会を設立し開催するものです。実行委員会に対する区からの補助金予算も区議会の承認を得ることができるところです。サミットの名のとおり、各団体のトップによる首脳会議です。

実行委員会が協議していた議論は、11月のサミット本番のプログラム、運営経費の収支、PR方法、manifestoの案などですが、現在、議題の素案を準備委員会(区内部の会議体)で検討しています。4月から図書館は、教育委員会事務局から区長部局に

移行し、文化商工部図書館課となりましたが、このサミットについては、教育長はじめ教育委員会事務局と文化商工部、そして総務課の連合体が準備委員会として協力してくれています。今後はさらに区役所全体が一丸となってサミットをバックアップする態勢です。

サミット日程

11月12・13日、東池袋の劇場「あうるすぽっと」と西池袋の「明日館」を会場に、基調講演～パネルディスカッション～分科会討議～分科会報告を経て、manifesto採択という日程を予定しています。基調講演は、国立国会図書館の長尾真館長にお願いする予定です。また、区内六大学にも協力を呼びかけ、多くの区民の皆様にも参加していただき、全区をあげた取り組みとしていきたいと考えます。

manifestoとは

実行委員会には、共同でmanifestoを掲げることを提案します。準備委員会でmanifestoの骨組み案を作成し、実行委員会での協議、サミットの討議を経て、manifestoとして発信していきたいと考えています。要素としては、読書離れ・活字離れの現状に対する共通認識、文字・活字文化振興法の崇高な理念の確認と、法の具現化に取り組む決意の表明など「共同宣言」部分と、実行委員会参加団体の取り組みと目標を表した「行動目標」の二本立てを想定し準備委員会で検討中です。

Current & Encounter

「石橋湛山という存在」
豊島区図書館行政政策顧問
粕谷 一希

言論人の首相
海老澤了之介を紹介した先号で、その早稲田時代の学友として石橋湛山が出てきた。その石橋湛山は永く目白の奥の落合に住んでおられた。私は偶然なことから、石橋湛山が総理になられたとき、中央公論社長・嶋中鵬二氏のお供をして落合のお宅に伺い、一時間あまりのインタビューを側から拝聴していた(昭和32年3月号の『中央公論』に掲載されている)。中央公論の前社長・嶋中雄作氏は石橋湛山氏など二十七八という定例の会合をもつた仲間で、戦時中を通して在野の自由主義的立場を貫いた同志であった。その石橋さんが総理になった。言論界出身の首相とは日本の政治史の中でも珍しい。昔からの仲間『中央公論』としても奮起して応援する立場に立った、いささかう。

地域の図書館紹介「千早図書館」編

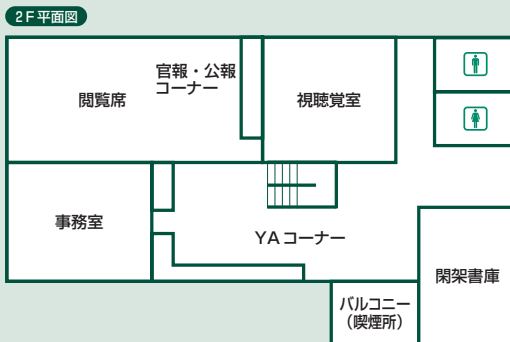
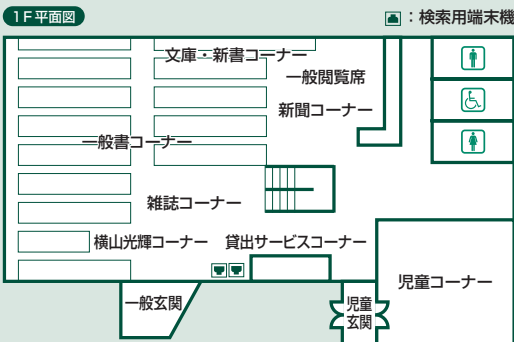
千早図書館は、昭和46年春、千川駅の南300メートルの地に、区内で2番目に建設されました。建物周辺は閑静な住宅街で、ご近所の方のご利用のほか、保育園・小学校など団体でのご利用が多いのが特徴です。

「地域の特色を生かした図書館づくり」としては、晩年、この地区に住んでおられた漫画家、横山光輝氏のことを皆様にご紹介するために、「横山光輝コーナー」を設けました。「鉄人28号」「三国志」「魔法使いサリー」等、秀作は時代を超えて愛されています。さらに、「子育て支援図書」の充実にも力を入れています。乳幼児向け絵本の新規購入や「児童書コーナー」の拡充で、親子で来館される方も喜ばれています。

館内視聴覚室では、地域の自主活動グループによる講演会や、お子様を対象とした「おはなし会」を定期的に開催し、おとも子ども本に親しむ機会の提供に努めています。

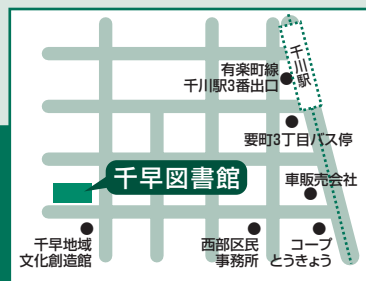
先日、いつも図書館をご利用いただいている方が、会社をリタイアされたと思われるお友達を連れて来館されたのをお見かけしました。公園デビューならぬ図書館デビューというところでしょうか。図書館は情報の宝庫です。セカンドライフを模索する皆様にも、資料探しなどお手伝いをさせていただきます。

東京メトロ有楽町線に加え、6月には副都心線も開業します。地域の皆様をはじめ近郊の方にも、利用しやすく役立つ地域図書館を目指してまいりますので、千早図書館へぜひお越しください。



豊島区立千早図書館

- 住所：〒171-0044 豊島区千早2-44-2
- 電話番号：03-3955-8361
- 交通案内：東京メトロ有楽町線 千川駅(3番出口) 徒歩5分
- 閲覧席数：115席



豊島区伝統工芸

豊島区伝統工芸保存会会員の皆様をご紹介します。

東京藤工芸 渡邊 勉さん



◆「藤のやさしさ」

南長崎2丁目の椎名町公園の先の路地を入ると藤工芸の渡邊勉さんの工房がある。工房の床には、色、質、太さの違う藤が所狭ましくと棚に積み、床には丁寧に作られた藤製品が並べられている。

渡邊さんは、昭和25年、16歳のとき新潟から上京、約10年間の修業の後、27歳で独立、以来椎名町で数多くの藤製品を作り続けている。

「昔、銭湯が沢山あった頃は、脱衣所の籠、ペーパーベットのほと



西澤 京子さん

郷土の民話や伝説に関心を持ち、それを題材とした童話の創作に取り組んでいます。

昭和の初め、池袋に「モンバルナス」と呼ばれた異業があたるといことは、何となく知っていました。多くの絵描きや彫刻家などは、パリにやがていかに訪れることを夢見ていたと思います。私は、そうした芸術家たちの熱い気持ちをもちと知りたかった。地域研究ゼミナルに参加することにしました。

尾崎先生の講義をお聞きして、池袋モンバルナスには個性豊かな色んな人が、百花繚乱のごとくいたことを学びました。みんな貧乏でしたが、自由奔放に創作活動に励みました。夜になると、安い酒場に仲間と繰り出して、熱い芸術論をたたかわれてました。先生は、「聖なる居住空間と、俗なる都市空間が、隣り合わせの場所でした」と、おっしゃいました。また谷端川が流れ、ドブ川と呼ばれていた頃のことです。池袋には、人を引き寄せる魅力が、その頃からあったようでした。

ゼミで私が楽しかったのは、スライドで作品を見ながら、グループの皆さんと色々話したことです。例えば、鏡光の「眼のある風景」という作品を、じっくりと見ました。描かれている素材は、落葉・切り株・洞穴・

地域研究ゼミナル受講感想 「池袋モンバルナス入門」

お店探訪～ギャラリーいがらし～

「アトリエ村の小さな画廊」代表 五十嵐 健市さん



西武池袋線椎名町駅前の長崎神社に沿って1分程のところ、アトリエ村の小さな画廊「いがらし」があります。こんな場所のこんなちっぽけな店、よくやられているものと訝しがりますが、NHK初めマスメディア各社が取材にやってきました。その評価を頂いているのです。

とはいえ、この画廊のやっていることは、かつての絵具屋時代にお世話になった絵描きさんたちの仕事つ振りを紹介しているだけのこと。その評価はひとえに「池袋モンバルナス」のお陰なのです。このへ絵の虫たち

の生き様は、それ程までに魅力的だったということなのでしょう。

先日、或る所からの依頼で「池袋モンバルナスの画家たち100選」という企画を手伝いましたが、現存作家はほんの5人だけでした。そういえば、かつては100軒以上もあったアトリエ村貸住宅も、面影を残すのは12軒になってしまったと聞いています。

幸い、「絵の虫たち」は作品を残してくれました。今日もまた、大好きだった絵描きさんたちのお気に入りの作品を飾りながら「池袋モンバルナス」が美術史になることを夢見ています。そして、そんな「夢」を見られる画廊の仕事も、本当に有り難いことだと思ひます。



「自然の良さ、藤の良さを実感して、もっと藤製品を使ってほしいね」と渡邊さんは言う。熟練された手さばきで藤を扱って、力強く綺麗な手が印象的であった。

藤の乳母車もよく作ったものだよ。」と当時を振り返る。作品の脚を見ると、床に接する部分が円状になっているものが多い。これは、デザイナーの良さを感ずることもながら、床を傷つけないように配慮して作られたものである。

乾燥した肉の塊、そして目。決して、きれいとは言えない物ばかりです。私は以前、この絵を東京国立近代美術館で見たことを思い出しました。その時は、なぞと暗い絵だろーと思っただけでした。しかし、ゼミで絵の見方が変わりました。鏡光の作品は、身近な物を題材にして、戦争や生活の不安を描き出したことであることを知りました。自己見つける欲求の表現に、作者のすこぶる感を感じました。先生が、「知識・教養として見るのではなく、作家の書いた動機に入っていくことが大切です」と、おっしゃった意味が分かりました。この作品は、シラカブを代表するものでしょう。

最後の回は、先生や仲間の皆さんとアトリエ村を歩きました。若き芸術家たちは、下駄の音をたてて池袋までの道を、せせせと往復したそうです。山手通りは広くなり、川は暗渠となり、多くのアトリエはなくなってしまいました。さくらが兵隊レンジャーの名前の由来となつた様子が、ただただ残っていたのが印象的でした。

池袋は、たえず変化し続けています。しかし、かつての場所若くは芸術家たちが、希望を持って仲間たちと情熱的に生きていたことを忘れはならないと思いました。

中央図書館 特別講演会

平成20年6月21日(土)午後4時~6時 会場「あうるすぽっと」会議室B

募集100名 参加費1,000円 講演会の受講を希望される方は、下記の申し込み方法をご覧ください。

「現代によみがえる三遊亭圓朝」 講師 延廣眞治

ゲスト対談 一圓朝を演じる おもしろさ むずかしさー 延廣眞治・柳家喬太郎

図書館からの
お知らせ



プロフィール
昭和14年、徳島県生まれ。帝京大学文学部日本文学教授。近世文学専攻。東京大学名誉教授。落語など古耕文芸、近世・近代の文学・芸能研究で著名である。主な著書として『落語はいかにして形成されたか』(昭和62年サントリー学芸賞受賞、平凡社、昭和61年刊)、主な編者として『落語の愉しみ(落語の世界1)』、『名人とは何か(落語の世界2)』、『落語の空間(落語の世界3)』(各岩波書店、平成15年刊)『三人吉三廓初頁(歌舞伎オン・ステージ14)』(白水社、平成20年刊)などがある。

延廣 眞治氏
のびひろ しんじ



プロフィール
昭和38年、東京都生まれ。日本大学卒業。平成元年、柳家さん喬に入門、平成12年真打昇進。古典、新作の両方を演じ、創作落語集団SWAに所属し新作落語を創作口演している。近年、三遊亭圓朝作品を精力的に演じ、「名人くらべー錦の舞衣」、一席物「にゅう」、長編物「熱海土産温泉利書」、昨年には、横浜にざわい座で長編「牡丹燈籠」を通して演じ好評を博している。平成17年度芸術選奨文部科学大臣新人賞など受賞。豊島区民。

柳家 喬太郎氏
やなぎや きょうたろう

図書館イベント情報

各図書館の連絡先

- 中央図書館 3983-7861
- 巣鴨図書館 3910-3608
- 池袋図書館 3985-7981
- 駒込図書館 3940-5751
- 上池袋図書館 3940-1779
- 千早図書館 3955-8361

◆ 児童・あかちゃんおはなし会 毎週、おはなし会を開催し本の読み聞かせなどイベントを行っています。遊びに来てください。

主催/会場	おはなし会開催日		スペシャルイベント	
	幼児・小学生	あかちゃん	5月	6月
中央図書館 児童コーナー	日曜日 2時	最終日曜日 11時	★4日・おはなしこうさく会 2時	★1日・おはなしこうさく会 2時
駒込図書館 (駒込地域文化創造館)	土曜日 3時	—	—	—
巣鴨図書館 地下会議室	水曜日 3時	最終水曜日 11時	★28日・すかもこどもえいがい 「ばけくらべ」(21分) 3時	★25日・すかもこどもえいがい 3時 「七夕さま」(10分)「とべないホテル」(17分)
上池袋図書館 おはなしのへや (※印は地下ホール)	水曜日 3時	最終水曜日 11時※	—	—
池袋図書館 ワークルーム	土曜日 2時	—	★24日・たんぼえいがい 「コマちゃんの交通安全」(15分)「花さき山」(14分) 2時	★28日・たんぼえいがい 2時「こぎつねコンとこだめきボン」(21分)
千早図書館 視聴覚室	水曜日 3時30分	水曜日 10時30分	—	—

日程・会場等が変更になることがあります。事前にお問合せください。

◆ 千早進歩自由夢 申込不要。当日、千早図書館(千早2-44-2)へ直接お越しください。

●6月21日(土)10時~12時
会場 千早図書館
講師 有堀 明氏
プロフィール

千早図書館友の会会員。歴史・文学・河川等様々な分野に精通。講師経験多数。

講演 【旅は鈍行で行く!】

- 内容
- 1 ふと思い立って下車
 - 2 その土地の学生達が、その日の学校での出来事を身振り、手振りで喋っている姿を見るのも楽しい。
 - 3 列車が停まると、手の届くような所にお城の石垣が続く。
 - 4 プールートレイン等の古い型の車両にゆったりと座れる。

◆ 特別整理休館のお知らせ

図書館名	休館日
中央図書館	6月23日(月)~6月30日(月)
駒込図書館	6月4日(水)~6月8日(日)
巣鴨図書館	5月21日(水)~5月25日(日)
上池袋図書館	5月28日(水)~6月3日(火)
池袋図書館	6月11日(水)~6月17日(火)
千早図書館	5月14日(水)~5月18日(日)

上記の日程で休館になります。ご迷惑をおかけしますが、ご理解、ご協力をよろしくお願ひします。

地域研究ゼミナール 受講生募集

豊島区に関する深いテーマについて、図書館の資料を活用し学びながら、自分の研究テーマを探すゼミナールを開講します。

第四弾は「昭和史と東京裁判」(全5回)



粕谷 一希氏

講師 粕谷 一希(かすや かずき)氏
(豊島区参事 図書館行政政策顧問)

日程 第1回 7月5日(土)「昭和史」
第2回 8月2日(土)「明治維新」
第3回 9月6日(土)「明治国家」
第4回 10月4日(土)「大正」
第5回 11月1日(土)「戦後史」

時間 午前10時~12時
会場 中央図書館5階会議室
費用 500円(資料代・事務費) 会場への交通費等は各自負担です。
募集 30名 ※ゼミナールの受講を希望される方は、右下の申し込み方法をご覧ください。

※受講生は、事前に、半藤一利著『昭和史1926-1945』(株式会社平凡社刊定価1,600円)を読んで講義に臨んでください。区内では、中央図書館・駒込図書館・池袋図書館・千早図書館に所蔵しています。

ビジネスなんでも相談

中央図書館では、中小企業診断士が創業・起業・多角化・事業継承・経営など、ビジネスに関する相談に無料で応じます。5月からは毎週土曜日も開設します。

開設日時 毎週水・木曜日 午後6時30分~午後9時30分
毎週土曜日 午後2時~5時

会場 中央図書館4階ビジネス支援コーナーカウンター
申し込み 当日直接会場へどうぞ。
電話予約もできます。(受付時間平日午前8時30分~午後5時)
生活産業課商工政策係 TEL5992-7089

各種申し込み方法

- ※ 申し込み方法は2種類です。
- ※ ひとつの行事に重複して応募された場合、2枚目以降は無効です。
- ※ 応募者多数の場合は抽選となりますので予めご了承ください。
- ※ いずれも申込期限後1週間程度で当落の通知をします。

1 復返はがきに①~⑥を記入し下記送付先へお送りください。(はがき1枚につき1件の申込みとします。)

- ① ご希望の講演名、又は、ゼミナール名「昭和史と東京裁判」
- ② 郵便番号
- ③ 住所
- ④ 氏名(ふりがな)
- ⑤ 電話番号

◆ 申込期限: 「6/21 講演会」 5月28日(水) 消印有効
「昭和史と東京裁判」 6月13日(金) 消印有効

◆ 送付先: 〒170-8442 豊島区東池袋4-5-2
ライズアリーナビル5階
中央図書館 企画調整グループ

2 電子申請でも受け付けます。
豊島区ホームページアドレス <http://www.city.toshima.tokyo.jp/>

図書館カレンダー

○は土日祝
●は休館日

中央図書館

開館時間
平日 午前10時~午後10時
土日祝 午前10時~午後6時

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	③
4	⑤	⑥	7	8	9	⑩
⑪	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	①

5月

6月

1	2	3	4	5	6	⑦
⑧	⑨	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

駒込・巣鴨・上池袋・池袋・千早図書館

開館時間
平日 午前9時~午後7時
土日祝 午前9時~午後5時

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	③
4	⑤	⑥	7	8	9	⑩
⑪	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	①

①	2	3	4	5	6	⑦
⑧	⑨	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

雑司が谷図書貸出コーナー

開館時間
平日 午前10時~午後7時
土日祝 午前10時~午後5時

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	③
4	⑤	⑥	7	8	9	⑩
⑪	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	①

①	2	3	4	5	6	⑦
⑧	⑨	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

蔵書点検のため各館休館します。日程は中段右「特別整理休館のお知らせ」をご覧ください。
分行倉ろう電検査のため、平成20年8月16日(土)は全館(点字図書館含む)臨時休館します。
目白図書館は建物の老朽化に伴う改修工事のため、平成20年9月初旬(予定)まで休館します。

編集後記
新しい年度を迎え、組織や人が変わり、今年度も図書館は慌しく変貌していきます。そうしたなかでも、サービスの質を問う姿勢だけは不変のものといえます。この通信が皆様と図書館を繋ぐ橋となるよう様々な情報提供に努めてまいりますので、どうぞご意見をお寄せください。(真)